PRESS RELEASE

各位

2024 年 12 月 12 日
公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

オンライン配信

Artpoint Meeting #16 「オンラインをつかう、“伝えかた”と“残しかた”」開催！

オンラインの実践を振り返り、これからの活動の広げかたを考える配信イベント

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、東京都とともに、地域社会を担う NPO と協働しながら、社会に対して新たな価値観や創造的な活動を生み出すためのさまざまな「アートポイント」をつくる事業「東京アートポイント計画」に取り組んでいます。その一環として、**まちなかでの文化事業やアートプロジェクトに必要な視点について深めるトークイベント「Artpoint Meeting」の第 16 回を、2025 年 1 月 25 日（土）にオンライン配信で開催**します。

コロナ禍を経験し、企画づくりでのオンラインの活用は身近なものとなり、いまもなお試行錯誤が続いています。たとえば、対面で続けていたけれど、意外にオンラインでもできた活動もあれば、オンラインではうまく進められずに、対面に戻す場面もあったでしょう。あるいは、企画をまとめるために紙のメディアをつくるのか、映像を撮るのか、ウェブサイトをつかうのかなど、さまざまな方法を選ぶことができるようになりました。

そうしたさまざまな選択肢が広がる現代にあるからこそ、あらためてオンラインならではの「伝えかた」と「残しかた」について足を止めて考えてみます。遠方にいる人とのコミュニケーションのやりかた、ウェブサイトの役割、フィジカルとデジタルでのアーカイブづくり、展覧会や作品を見せる場の変化など視点はさまざま。**今回はオンラインでの実践を重ねてきたゲストをお迎えし、オンラインを活用したこれからの活動の広げかたについて、ことばを紡ぎます。**

画像：Artpoint Meeting #16 イメージビジュアル

開催概要

Artpoint Meeting ＃16　オンラインをつかう、“伝えかた”と“残しかた”

【開催日】2025 年 1 月 25 日（土）16:00～18:00（15:50 配信開始）

【形　式】YouTube でのライブ配信（配信 URL は開催 3 日前までに公式ウェブサイトに掲載）

【定　員】なし（事前申込不要）

【参加費】無料　※手話通訳あり

【公式ウェブサイト】https://tarl.jp/opencall/apm16/
こちらの公式ウェブサイトでは、オンラインでのコミュニケーションや企画に関する「質問」を募集しています。オンラインの活用方法、ツールの選び方、ウェブサイト運営の課題、映像づくりとライブ配信の使い分けなど切り口は問いません。ぜひ、気軽にご投稿ください。
※イベント中に投稿いただいた内容を紹介する場合があります。
※すべての質問に回答できない場合があります。あらかじめご了承ください。

【主催】東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
【協力】P3 art and environment

タイムテーブル

16:00～16:20　イントロダクション
「コロナ禍でのアートプロジェクトを振り返る」
「東京アートポイント計画」「Tokyo Art Research Lab」でのオンラインを活用した企画を中心に、そこで感じた可能性、課題について振り返ります。
モデレーター：萩原俊矢（ウェブディレクター）、櫻井駿介（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）
話し手：小山冴子（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）

16:20～16:40　プレゼンテーション
「オンラインをつかった、“伝えかた”と“残しかた”を振り返る」
これまでにゲストが取り組んできたプロジェクトの事例やその制作プロセスを振り返り、そこでの気づきや発見、悩み、大切にしていることを伺います。
話し手：茆貴彦（アートマネージャー、CG-ARTS 文化事業部）、明貫紘子（キュレーター、アーキビスト、映像ワークショップ合同会社代表）
聞き手：萩原俊矢、櫻井駿介

16:40～17:25　ディスカッション
「これからのコミュニケーション、アーカイブの可能性を探る」
オンラインと対面（フィジカル）の特性をいかした企画での使い分けや、取り入れかたのコツ、文化事業としてかかわりを広げるための考えかたについて議論します。
話し手：萩原俊矢、茆貴彦、明貫紘子、櫻井駿介

17:25～17:35　休憩

17:35～17:55　質疑応答コーナー

17:55～18:00　クロージング

※プログラムは変更になる場合があります。

プロフィール

萩原俊矢（ウェブディレクター）
1984 年神奈川県生まれ。ウェブディレクター、プログラマ、デザイナー。工業高校時代にメディアアートに出会い、デザインとテクノロジーを組み合わせた表現に関心を持つ。大学で美術を学びつつネットアートやウェブデザインの領域で活動をはじめる。セミトランスペアレント・デザインを経て、2012 年に独立。現在は株式会社スタジオ・オータムの代表として、文化芸術分野を中心にウェブサイト制作とアクセシビリティ向上、オンラインアーカイブ構築に取り組む。これまでに文化庁メディア芸術祭新人賞や東京 TDC RGB 賞などを受賞。
https://shunyahagiwara.com

茆貴彦（アートマネージャー、CG-ARTS 文化事業部）
1981 年神奈川県生まれ。アーティスト、アートマネージャー、インスタレーション・コーディネーター。モーターや家電などを用いたインスタレーション作品の制作や、グループ展のオーガナイズなどを行う。多摩美術大学の助手、展示エンジニアを経て、2011 年より「3331 Arts Chiyoda」にて展覧会企画・施設運営など多岐にわたる業務を担当。2013 年より「CG-ARTS」にて文化庁メディア芸術祭やメディア芸術クリエイター育成支援事業をはじめとする美術展の設計・制作やアートプロジェクトのマネジメントを行う。
https://www.takahikoazami.com

明貫紘子（キュレーター、アーキビスト、映像ワークショップ合同会社代表）
1976 年石川県生まれ。キュレーター、アーキビスト。筑波大学芸術専門学群総合造形、岐阜県立情報科学芸術アカデミー卒業。ドナウ大学大学院メディアアートヒストリー修了。NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]学芸員を経て、「メディアアートの記録と保存」に関する研究やプロジェクトに従事。2013 年から inter media art institute Duesseldorf にてビデオアートのデジタル化とデータベース構築に従事。2018 年に木村悟之と映像ワークショップ合同会社を設立し「眠っている文化・芸術資源を掘り起こし、次世代の創造性につなげる」ことをテーマに活動する。　https://www.eizo.ws

参考情報

□ 東京アートポイント計画 について
地域社会を担う NPO*とともに、社会に対して新たな価値観や創造的な活動を生み出すためのさまざまな「アートポイント」をつくる事業です。 当たり前を問い直す、課題をみつける、異なる分野をつなぐ―そうしたアートの特性を活用し、実験的なアートプロジェクトを通して、個人が豊かに生きていくための関係づくりや創造的な活動が生まれる仕組みづくりに取り組んでいます。
2009 年から現在（2024 年度）までに、東京都、アーツカウンシル東京、NPO との共催で 56 団体と 45 件のプロジェクトを実施してきました。プロジェクトが地域に根付くために、プロジェクトを担う人材育成や活動基盤の整備なども行っています。また、自治体と文化事業を共催する「東京都・区市町村連携事業」を実施しています。
*NPO 法人のほか、一般社団法人、社会福祉法人など非営利型の組織も含む
https://www.artscouncil-tokyo.jp/what-we-do/artpoint-concept/

□ Artpoint Meeting について

「まち」をフィールドに、人々の営みに寄り添い、アートを介して問いを提示するアートプロジェクトを紐解くため、アーツカウンシル東京が企画するトークイベントです。アートプロジェクトに関心を寄せる人々が集い、社会とアートの関係性を探り、新たな「ことば」を紡ぎます。

□ アーツカウンシル東京 について

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。

https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/

【本事業に関するお問い合わせ】

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 事業部事業調整課 事業調整係

担当：櫻井、岡本

TEL：03-6256-8435　E-mail：tarl@artscouncil-tokyo.jp

【本リリース、掲載に関するお問い合わせ】

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部広報課 広報係

担当：工藤、堀岡

TEL：03-6256-8432　E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp